

# 平成30年度 第3回たつの市学校規模適正化検討委員会

## 会議録（抜粋）

日 時 平成30年12月4日（火） 午後7時  
場 所 市役所分庁舎 2階 第3会議室

### 1 協 議

たつの市における今後の学校の在り方について（答申）案 について

#### 委員長

お手元の資料「たつの市の今後の学校の在り方について（答申）案」は、第1回及び第2回検討委員会での協議内容を踏まえ、前回提示されていた答申（案）を事務局が修正し作成したものです。この答申（案）をもとに、再度、委員の皆様からのご意見をいただき、本日、答申内容を決定したいと思えます。

#### 委員

保護者の方の意見が一番重要だと思うが、自分の子どもが卒業してしまったら関係がなくなってしまふ。そうではなく、この答申を踏まえ、みんなで児童数が少なくなっていることを真剣に考えていかなければならない。将来、統合となった場合、その統合される側の地域にとってはコミュニティがなくなる恐れがある。学校が廃校となった代わりに、担保として住民に理解を得られるようなものが欲しい。

#### 委員

少子高齢化で子どもが少ないことから、甘やかされて育っている子どもが増えているように思う。最近、ここというところでひと踏ん張りできない子どもが多い。できればある程度の規模の学校の中で、切磋琢磨できるような環境を作ってほしい。

#### 委員

前回と比べ、内容、グラフもとても見やすくなってよいと思う。

今、PTAの役員候補が少なく、PTA自体が成り立たない状況になりつつある。

小規模校のメリットもあるが、将来、統廃合ということになると、子どもが放課後に友達の家遊びに行くときはどうなるのかと思う。登下校はスクールバスで対応できるとしても、帰宅した後の子どもの行動について、学童に準じたものを導入するなど、これまで以外の部分も考えていかないとけないと思う。

## 委員

小規模校のPTA役員になるのは嫌だといって、違う校区に引っ越しをする保護者の方もたくさんいらっしゃいます。その地区に住み続けたい、通わせたいと思うような夢のある学校づくりが必要なのではないでしょうか。小規模校の良さ、統合する良さのそれぞれのメリットを伸ばしていくことが必要だと思います。

## 委員

たつの市の人口の減少率の大きさなどに驚いています。保護者のアンケートの中で、「あなたが適正と考える1クラスあたりの児童数は何人ですか」の問いに対し、「10人未満」が0パーセントです。1パーセントもないということは、だれもがこの人数を適正だとは思っていないということです。また、「適正と考える1学年あたりのクラス数」では、2クラスと3クラスと答えた保護者の方が多いです。1クラスでは、幼稚園からずっと同じメンバーで小学校6年生まで進級しますので、あの子は足が速い子、あの子は賢い子など、人間関係が固定化してしまいます。2クラスではクラス替えができ、3クラスは人間関係の選択肢がととも増えます。そういった考え方が保護者の方も感じていらっしゃるのではないかと思います。そういったことを踏まえ、「学校同士を統合することをどう思いますか」の問いに、「どちらともいえない」が一番多いです。これは保護者の方もいろいろ考えていらっしゃる結果だと感じました。

## 委員

この間、小学6年生の児童が中学校に来てゲームを通して仲間づくりをしていく「人間関係プログラム」を実施しました。4クラスのグループに分かれて活動したのですが、小規模校の小学校の児童を4つのグループに分けると、女子児童が1クラス5人も超えないことになり、小学校から中学校に進学する際の環境の変化の大きさについて、目に見えて感じたところです。

来年度のPTA役員も決めていく時期になっているかと思います。各地区から選出されますが、中学校区の中でも生徒が在籍しない地区が出てきています。そうすると、例えばリサイクル活動はどうするのかというような問題が出ています。2年ほど続いて生徒がいない場合は、地域の方との話し合いが必要になってきます。

また、クラス編成についても、中学校でも子どもたちにとってはとても必要なものだと思います。例えば、人間関係で合わなかったときや自分が失敗してしまったときに、このクラス編成というのは、子どもたちにとっても新たなスタートができますし、教師も応援することができます。ただ、実際、統廃合となる場合は、このアンケートの意見とは違った数値が出てくると思います。廃校となる地区においては新たな形のコミュニティの場が必要になってくるのではないかと思います。

## 委員

たつの市の人口はこんなにも減っていくのかとびっくりしています。やはり何らかの対策が必要だなと思いました。統廃合ありきで考えるのではなく、一緒に方向性を考えていくことが必要であると

思います。

#### **委員長**

アンケートの結果等で、統廃合について「どちらともいえない」の意見が多かったのですが、この意見がより具体的にどういう意見であるのかを聞く必要があります。そのための仕組みづくりとしてこの検討委員会で方向性を出したいということですので、この点を御理解いただけたらと思います。

#### **委員**

今後の学校の在り方の1つとして、小規模校でも切磋琢磨できるような事業を考えてほしい。例えば、運動会などにも広域で参画できるような方法もあるのではないかと思う。安易に提案だけで終わらないようお願いしたい。

#### **委員**

地域と一緒に協議していくということが記載されておりますので、この内容でよろしいかと思ます。

#### **委員**

国が示している小学校、中学校の学級数の標準が「12学級以上18学級以下」ということは、小学校では1学年2学級から3学級となるが、実際、田舎の方では1学年で2クラス以上は難しいのではないか。いっそのこと、この答申に具体的な学校名を出したらどうか。それでみんなで検討していけばよいのではないか。

#### **事務局**

今回はあくまでも学校の適正規模・適正配置の基本方針というものを定めるものです。今後はその基本方針に基づき、その該当する地域へ入り、具体的に説明をした上で、統合するか、小規模のまま存続していくかを、地域とともに検討していくものですので、基本方針に具体的な学校名を表記することは考えておりません。

#### **委員**

先ほど言われましたが、基本方針に具体的に基準を決めてほしいと思います。少ない児童数の小学校の方がきめ細かな教育が受けられやすいといったメリットがありますが、反面、中学校に進学した際の中1ギャップという問題も心配です。そういったことも分かった上で、保護者アンケートでは「どちらでもない」の意見が多かったのではないのでしょうか。市側から「統廃合します」と該当する学校へ出向き、子どもに与える影響をきちんと説明していただいた方が、統廃合について理解が得やすいと思います。PTAとしては、協力はいくらでもします。具体的に基準を定めてもらい、即実行できるようにしてほしい。

## 委員

改めて考えると、たつの市の人口減少は、他の自治体の平均と比べ早い方ですので、統廃合を早く進めて上手くいく場合もあります。しかし、たつの市の地域の中でも人口の増減にばらつきがあります。統廃合というのは、人口減少の問題のほか、地域格差についても解消していかないといけないと思います。反対意見は出やすいと思いますし、それらをまとめることは難しいとは思いますが、ある程度の方向性を出してもらわないと見えてこない部分もあると思います。

## 委員

小さい学校であれば、親は常にPTA活動に携わらないといけない。それがかなり負担になっている方もいる。その学校だけで人数を増やすなどの改善は難しい。中1ギャップのことも含め、やはり学校同士を統合することが必要になってくると思う。

## 委員

この答申を経て、次の進め方について教えていただけたらと思います。

## 事務局

皆様からの答申をいただいた後、教育委員会で基本方針(案)を作り、パブリックコメントを経て、基本方針を策定いたします。この答申案の中にもあります「要検討基準」に該当する学校の自治会、保護者の方に対して、教育委員会から出向き、その場所で一緒に検討していこうと考えております。

## 委員長

教育委員会の方からアクションを起こすということですね。

## 委員

協議から決定まで、スピード感が大事だと思います。いつまでにといいことも記載されていないので不安があります。この検討委員会も「立ち上がっている」ということをその地域だけでなく、保護者全体に情報を発信していかないといけないと思います。学校が良くなるということで、「たつの市に家を建てたい、住みたい」と思わせるような力も必要なのではないでしょうか。

## 委員長

不安の解消に努めることと、情報発信をしてもらいたい、やるのならばスピード感を持って実行していただきたいということですね。

## 委員

近隣の市においては、適正規模・適正配置についての方針が具体的な内容であったため、「性急すぎだ」という厳しい意見が出ていました。スピード感というのも大事かもしれませんが、たつの市は田舎ですので、このぐらいのゆっくりした速さでちょうどよいのかなと思います。保護者や地域の方の

思いを汲みながら、ゆっくりゆっくり行かないと上手く進まないと思います。我々はこの検討委員会でいろんな議論をしましたので、これが無駄にならないよう「次、次」というような焦る気持ちにはなりますが、この現状を全く知らない人たちにとっては、ゆっくりと議論を重ねていかないといけないと思います。実は、教育委員会にとってはゆっくりと時間をかけて行うことの方が大変です。その方法を選択されたことはありがたいことだと思っています。

「子どもたちのために」ということを最優先に考えていかなければなりません。子どもたちの成長の中で、小1プロブレム、中1ギャップ等、節目節目でのストレスがこれ以上大きくならないよう、学校においては切磋琢磨させる場面を作っていくといけないと思います。次期の学習指導要領が「主体的、対話的で深い学び」としています。学力をつけるというときに、自分が主体となり対話していくときに、教師と児童との対話もあれば、児童同士の対話ということも学習の中では絶対に必要になってきます。ある程度の対話ができる人数が、また、それを広げていくような人数が必要ではないかと思っています。

#### 委員

今後、地域に話をしていくときに、迎え入れた学校は大きな問題はないかと思いますが、迎え入れられた学校の方ではどのようなご苦労があったのか、事前に調査して説明していただければと思います。

#### 委員

この答申には「小規模校」の規定が書かれておりません。自分の学校が小規模校かどうか分かりやすいように、誤解が生じないようにきちんと記した方が良いと思います。

#### 事務局

それでは、国が示している学級数の標準と併せ、小規模校についても記載するようにします。

また、今日の委員の皆様からのご意見の中で、「スピード感をもって進めたほうがよい」というご意見と、「丁寧にゆっくりと説明し、理解を得ながら進めるべきだ」というご意見と、少し矛盾する点がございました。それに関しては、たつの市内のそれぞれの地域、校区の状況等は様々ですので、たつの市全体で統一した速さでは進められないと考えております。その地域に合わせて進めていきたいと考えていますので、この点を御理解くださいますようお願いいたします。

#### 委員長

この適正規模・適正配置の問題は、いろんな意見がある中での難しい問題ではありますが、教育委員会はあえて子どもたちの教育のためにこの問題を取り上げようとされています。このことについてお互いに共通認識を持ちたいと思います。また、皆様の御理解、御協力をお願いしたいと思います。

検討開始をするということではありますが、決定までは地域住民の皆様、保護者の方々、関係各位の意見を最大限に尊重することなどがここに書かれていますので、教育委員会にはその通り進めていただくようお願いするところです。

#### **副委員長**

委員の皆様の御意見から感じたことは、学校の適正化の問題は真剣に考えていく必要のある大切なこと、また、保護者任せではなく教育委員会も一緒に考えていこうとされていることがよく分かりました。これから基本方針を示すということですが、その基本方針に基づいて具体的な検討を進められる際は、保護者の方と十分議論を重ねた中で、地域と共にある学校づくりを皆さんで合意できたらと思います。

#### **委員長**

本日の皆様の御意見を踏まえて、私、委員長の方で引き取って、事務局と調整をした上で、答申を作成させていただきたいと考えておりますが、皆様、よろしいでしょうか。

< 委員 異議なしの声 >

#### **委員長**

ありがとうございます。それではこれで協議を終わらせていただきます。

～ 終 了 ～